



## トピックス

### 天然記念物等の里帰りの状況について

林木育種センター 遺伝資源部 橋本 光司・藤原 昭博

#### 1 はじめに

林木育種センターでは、巨樹・名木、絶滅の恐れがある希少な樹木や特異な形態を持つ樹木など、学術上貴重な特徴を持つ国指定天然記念物をはじめとする多様な樹木の収集・保存を行っています。収集したものは、主としてさし木やつぎ木により、原木と全く同じ遺伝子を持つクローン苗木として保存しています。保存したものについては、形態や成長などの諸特性の調査を行い、林木育種などの科学研究の材料として利用されることとなります。当センター本所及び各育種場で行ってきた収集・保存状況については、本誌の創刊号 - 3、第2号 - 1～3及び第3号 - 1に掲載されており、これらは当センターのホームページ (<http://ftbc.job.affrc.go.jp>)でもご覧になれます。

巨樹・名木などについては、古くから地元の信仰の対象であったり、地域社会の中で親しまれてきたりしたものが多いことから、地元自治体からの要請などによって、当センターで保存している原木のクローン苗木を現地に「二世」として里帰りさせることもあります。

以下に、これまでに行ってきた苗木の里帰り状況を紹介します。

#### 2 里帰りの現況

林木育種センターで最近行った里帰りの事例をあげると、表 - 1 のとおりです。クローン苗木の提供先は、原木の所有者・管理者（国有林、地方公共団体、神社等）のほか、保存活動を行う公的機関・管理者等で構成される任意団体となっています。

これらの中には、現地の原木がすでに存在しないものも多くあります。例えば、真覚寺の「岡野松」は、枝張りの広さでは日本一といわれていました。しかし、平成5年に9月に原木が枯れてしまいました。幸いにも枯死する直前に小枝が採取されて林木育種センターに送付され、当センターがつぎ木増殖を行い、育てた苗木が平成6年12月に地元に戻りました。

表 - 1 最近行った里帰りの事例

名 称	樹種名	指定等	苗木の提供先
千本ナラ	ミズナラ	森の巨人たち百選木	国(国有林)・北海道浜益村・村観光振興協議会
カズグリ	クリ	国指定天然記念物	岩手県東和町
長泉寺の大イチョウ	イチョウ	国指定天然記念物	岩手県久慈市
実相寺のイチョウ	イチョウ	国指定天然記念物	岩手県一戸町
馬ノ神岳のカラマツ	カラマツ	衰退林分(宮城県蔵王町、白石市)	国(国有林)
東根の大ケヤキ	ケヤキ	国指定(特)天然記念物	山形県東根市
文下の大ケヤキ	ケヤキ	国指定天然記念物	山形県鶴岡市
早田のオハツキイチョウ	イチョウ	国指定天然記念物(山形県温海町)	所有・管理者
いぶき山のイブキ樹叢	ビャクシン	国指定天然記念物・衰退林分	茨城県十王町
鶴川神社の大ケヤキ	ケヤキ	国指定天然記念物(新潟県柏崎市)	所有・管理者
松之山の大ケヤキ	ケヤキ	国指定天然記念物	新潟県松之山町
天橋立のマツ	クロマツ	国指定(特)名勝記念物(京都府宮津市)	京都府
大山並木松	クロマツ	町指定天然記念物	国(国有林、環境省)・鳥取県・大山町・県緑化推進委員会
多行松	アカマツ	町指定天然記念物	岡山県哲多町
真覚寺の岡野松	クロマツ	県指定天然記念物(香川県さぬき市)	所有者
行者杉	スギ	巨樹、有名木(福岡県小石原村)	国(国有林)
小川内の杉	スギ	県指定天然記念物	佐賀県東脊振村、神社氏子関係者
女夫木のスギ	スギ	国指定天然記念物	長崎県諫早市
眉山の大杉	スギ	巨樹、有名木	長崎県島原市
手野のスギ	スギ	国指定天然記念物(熊本県一宮町)	所有者
参道杉(夫婦杉)	スギ	巨樹、有名木(熊本県水上村)	国(国有林)
千年杉	スギ	市指定天然記念物	熊本県水俣市、神社氏子関係者
池尻の唐傘マツ	アカマツ	県指定天然記念物	熊本県矢部町、所有者、地元住民
拝所の大スギ	スギ	巨樹、有名木	熊本県清和村
阿蘇北向谷原始林	スギ	国指定天然記念物	熊本県大津町
山の神スギ	スギ	巨樹、有名木	熊本県大津町
坂下阿蘇神社の杉	スギ	巨樹、有名木(熊本県南関町)	所有者
茂道松	クロマツ	地域品種	国(国有林)・熊本県水俣市、地元住民等
小岱松	アカマツ	地域品種	熊本県玉名市

#### 3 里帰りした代表的な天然記念物

以下に、里帰りした代表的な天然記念物の事例を紹介します。

[ 鶴川神社の大櫨 (新潟県柏崎市) ]

国の天然記念物として指定されたケヤキでは、国内有数の巨樹です(写真 - 1 左)。幹周が11m以上もあり、樹齢は1000年以上ともいわれています。東北育種場で増殖していたクローンを平成8年5月に鶴川神社境内へ8本里帰りました(写真 - 1 右)。



写真 - 1 鷺川神社の大樺の原木(左)と里帰りした苗木(右)



写真 - 3 手野の大杉の原木(右)と里帰りした二世(左)

#### [天橋立の「阿蘇の松」(京都府宮津市)]

国の特別名勝として指定された天橋立にあり、市民から親しまれてきたクロマツです。平成13年秋に原木が枯死したことから、天橋立を管理する京都府より、阿蘇の松が健全だった頃(写真-2左)に採穂してクローン増殖していた関西育種場あてに、里帰り要請があり、平成15年3月に地元園児らにより記念植樹されたものです(写真-2右)。



写真 - 2 健全だった頃の天橋立「阿蘇の松」の原木(左)と地元園児による記念植樹(右)

#### [手野の大杉(熊本県阿蘇郡一の宮町)]

国の天然記念物として指定された、樹高47m、幹周が11mもあるスギの巨樹でした。平成3年の19号台風で、高さ10mのところから幹が折れ、その後、枯死しました。現在では、その大きさを物語る根本部分と折れずに残った樹幹部分が保存されているだけです(写真-3、右端)。

九州育種場が保存していた3本のうち1本の苗木が、平成5年3月に枯死した原木の横に里帰りしました(写真-3、左端)。

#### 4 今後の取り組み

##### ～林木遺伝子銀行110番の開設～

ここまで述べましたように、林木育種センターでは、従来からも天然記念物などのクローンの増殖要請があれば、可能な限り応じてきたところですが、平成15年12月1日に、林木遺伝子銀行110番を開設し、巨樹・銘木等の遺伝資源のクローン増殖サービスを開始しています。

この林木遺伝子銀行110番は、機関や個人等が所有する天然記念物や巨樹、銘木、有名木等の樹木が高齢等で衰弱している場合などで、これらの機関等から全く同じ遺伝子を持つ後継クローン苗木の増殖の要請があった場合に、さし木やつぎ木等の方法により後継クローンを増殖するサービスを行うものです。費用は無料ですが、サービスの対象は、当センターに保存する価値を有しており、かつ、高齢等の理由による衰弱がみられるなど、後継樹の増殖の緊急性が高いと判断されるもの、とさせていただきます。なお、樹種や樹齢等によってはさし木やつぎ木等による増殖ができない場合もあります。

また、増殖した苗木は2年後を目途に所有者へ里帰りさせるとともに、当センターでも保存し、特性調査を行い、林木育種などの科学研究の材料として活用させていただきます。

詳しくは以下にお問い合わせください。

～林木遺伝子銀行110番の連絡先～  
林木育種センター遺伝資源部探索収集課  
電話：0293-32-7048